

所 属	林政部 県産材流通課		
担当(係)名	生産企画担当	内線	3015

間伐材等の県産材の安定生産対策の推進

～ 提案型による環境保全と効率的な木材生産の両立をめざすモデル団地の形成 ～

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
106,396	国庫 80,790	補助金 101,096(機械導入補助等)
(前年度135,896)	一般財源 25,606	

2 背景・現状

利用間伐適期である8齢級以上の人工林面積が65%以上を占めるなど県内の森林資源は着実に増加する一方、製材加工拠点の整備及び平成22年度の合板工場稼働により県産材需要も着実に増加するなか、安定的かつ低コストな木材生産システムの構築が必要である。

3 事業目的

500ha程度のモデル団地を設定し、森林づくりの方向を「環境保全」と「木材生産」に区分し、目的に応じた効率的な施策を実施するため、木材生産林においては施策の集約化、林内路網整備と高性能林業機械を組み合わせた生産性の高い伐採専門チームの養成等により、安定的かつ低コストな県産材の供給システムを構築する。

4 事業概要

- (1) 森林づくりプロジェクト推進事業費 [1,000千円]
モデル団地の選定委員会の開催、関係機関との連絡調整及び現地指導等を実施
- (2) 林業機械導入促進事業費 [89,996千円]
木材生産に必要な機械を導入する経費の一部を助成。(補助率1/3~4.5/10)
モデル団地において、高性能林業機械を活用した効率的な作業システムの構築とその普及を目指す事業体に対しては、事業費の1/2まで補助率嵩上げを実施
- (3) 高能率生産システム構築事業費 [2,400千円]
林内路網整備と高性能林業機械の活用により、本県の地形・土質等に適した生産性の高い作業システムの構築、伐採専門チームを育成するための講習を実施
- (4) 間伐材搬出促進モデル支援事業費 [12,000千円]
モデル団地内で生産された間伐材について、林道端から木材市場等への運搬に要する経費の一部を助成
- (5) 健全で豊かな地域林業チャレンジ事業費 [1,000千円]
小規模モデル団地(30ha程度)を設定して実践する木材生産プロジェクトに対して、地域森林管理のランドデザインの作成、低コスト作業システムの選択や作業路網作設等をサポート

項目	実績		計画	合計
	19	20	21	
森プロモデル団地数	5	3	5	13
森プロ団地面積(ha)	2,980	2,247	約2,500	7,727
高性能林業機械台数	14	10	5	29
伐採専門チーム数(新規分)	4	3	1	8
チャレンジ地区数	-	7	10	17



作業システム化が進む現場

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費
(明細書事業名) 木材生産流通対策費
森林づくりプロジェクト推進事業費 他